

「い：今できることを たのしく全力で  
わ：わくわく どきどき 忘れずに  
て：適度な距離で 心は密に！」

令和3年度 垂井町立岩手小学校 PTA 会長 高木 昌彰



私たちは、垂井町立岩手小学校 PTA です。垂井町立岩手小学校は、垂井町の北西に位置し児童数は令和4年1月現在で91人です。

岩手小学校の特徴として、岩手地区では戦国時代に活躍した「軍師 竹中半兵衛公」が治めていた地域であり、小学校の課外学習として、竹中半兵衛公の史跡や歴史を学習したり、運動会などでは「竹中半兵衛踊り」を演舞したりするなど、歴史に根付

いた活動をしています。

このような岩手小学校において、児童は、学校の訓示である「なかよく・かしこく・たくましく」をモットーに元気いっぱい活動しています。

このような中で、令和3年度の PTA 活動は、表題のものをスローガンとして児童・教師・保護者が一体となって楽しい活動を目指しました。

5つの基本方針から13の重点活動に則り様々な行事を計画しました。「挨拶運動の展開」「登下校の見守り活動」「春秋の花壇の世話」は、保護者だけでなく地域のみなさんと一緒に活動しています。「家庭教育学級」「救急救命講習」は、親としての研修の場を設け、適切な行動ができることを学びます。「ベルマーク整理」「資源回収」は、親子で行うことにより、共に行う連帯感と仕事に対する責任感を養います。「おやおくふくろの会」は、校内の奉仕作業として、ペンキ塗りや草むしりなどの環境整備を行います。「お話プレゼント」は、保護者が一冊の絵本を選び、各学年クラスにて読み聞かせをします。子どもたちはとても楽しみにしています。

しかし、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染防止のため PTA 活動が大きく制限されることとなりました。たくさんの行事が中止となり、思うような PTA 活動が出来ない状況が続きました。その中でも、「感染対策を行いながら出来る活動を行いましょう」と役員だけでなくたくさんの保護者の中で意識が芽生え、子どもたちと楽しめる行事を進めました。実際にできた活動としては、「挨拶運動の展開」「登下校の見守り活動」「お話プレゼント」です。

「挨拶運動の展開」は、地域のみなさんが率先して子どもたちに声かけをしていただきました。子どもたちは、毎朝元気よくあいさつしています。「登下校の見守り活動」には、危険箇所の回避や車などへの注意喚起を指導いただきました。「お話プレゼント」は、回数が減りましたが、活動することができました。

新型コロナウイルス感染症はまだまだ全世界に拡大しています。日本や岐阜県内においても同様です。一人一人の感染対策が求められています。学校生活にも大きな制限がある中、まだまだ元の状況に戻ることは難しいかと思えます。新しい生活様式が始まることも予想されます。PTA 活動として大切なことは、子どもたちの笑顔があふれる活動をするための環境作りではないでしょうか。学校と地域が連携して、さらに PTA 活動をとおして、できることを精一杯行い、充実した活動が今後も続くことを願いながら、頑張っていきたいと思えます。

